

さんむのふるさと散歩

NO.44

ふるさと散歩NO41で児童文学者北川千代氏や蓮沼の網元小川家と与謝野鉄幹・晶子の親密な交流についてお話ししました。

その小川家と与謝野家の交流を裏付ける貴重な史料が資料館友の会から寄贈されました。

寄贈された史料は小川雄次郎宛与謝野寛(鉄幹)直筆葉書が5枚です。うち2枚紹介します。

1枚目は明治44年11月に与謝野寛が渡欧するため忙しくて会えませんが、の非礼を詫げる手紙があります。(文は印刷)

伊藤左千夫は森鷗外の私邸「観潮楼」で与謝野寛の渡欧記念会に参加しています。(写真1) 森鷗外をはじめ高村光太郎・佐藤春夫・永井荷風・北原白秋など明治の文豪たちが出席しています。



写真1 「与謝野寛渡欧記念」

2枚目は大正2年12月27日消印の葉書です。(写真2)

以前から小川雄次郎が与謝野寛の子供たちを遊びに来るよう誘っていたようです。

内容は子供達が遊びに行くので、

「大正2年12月27日 小川雄次郎宛 与謝野寛直筆葉書」

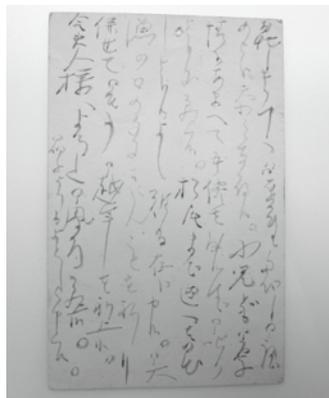
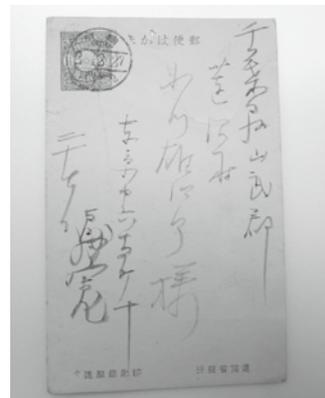


写真2 葉書の表裏

松尾駅まで迎えをお願いしています。

また、言うことを聞かなければ遠慮無く叱ってくださいと記しています。

ちなみに与謝野寛・晶子夫婦には12人の子供がいます。どの子が来たか不明ですが楽しい年末・年始を送ったことと思います。

小川雄次郎は与謝野寛の良き後援者であったことが伺えます。

左千夫茶会 秋の集

錦風茶会を11月7日に開催しました。

小春日和とは行きませんでした。156人の参加者が伊藤左千夫生家・唯真閣で お茶を楽しみました。



茶会風景



唯真閣

問 歴史民俗資料館

☎ (82) 2842